

弘前市(青森県)の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

中心市街地に「弘前就労支援センター」を開設し、弘前市とハローワークが一体となって市のアクションプラン2012等を推進して雇用の拡大を図る

弘前市

市の雇用対策事業に係る相談



国

職業相談・職業紹介等

1 事業内容

- ・ 弘前市アクションプラン2012に係る雇用対策事業(※)についての相談、情報提供等

(※)1 仕事おこし・雇用創出事業 2 農商工連携等による食産業育成事業 3 地域人材育成事業

4 創業・起業支援事業 5 企業誘致関連事業

- ・ 一般求職者の方を対象とした職業相談・職業紹介等
- ・ 委託事業により実施する取組

(① 合同企業面接会 ② 託児施設付職業訓練事業 ③ 職場定着コンサルティング事業 ④ 食産業人材育成セミナー)

2 協定・事業計画

- ・ 弘前市長と青森労働局長の間で協定(*)を締結
- ・ 数値目標を盛り込んだ事業計画を、弘前市と青森労働局の間で策定

* 協定の実施について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

3 運営協議会

- ・ 弘前市職員、青森労働局職員等をメンバーとする運営協議会を設置

弘前就労支援センターでは市の雇用対策事業の周知・広報やワンストップで職業紹介を行うほか、市のアクションプランに基づく各種事業を委託事業として実施する。

(1) 実施体制

市

・商工労政課 非常勤職員 2名

国

・弘前公共職業安定所相談員 3名
・弘前公共職業安定所事務補佐員 1名
・求人情報提供端末3台、職業紹介端末2台、情報提供端末1台を設置

(2) 事業目標と取組状況

事業内容	25年度事業目標	取組状況(25年10月末現在)
新規求職者数	新規求職者数 1,330人	958人
就職者数	就職者数 456人	412人
合同企業面接会	参加者数 150人 就職者数 40人	参加者数 207人 就職者数 56人
販売及び飲食店向けホスピタリティセミナー	参加者数 30人 就職者数 10人	参加者数 6人
商品ディスプレイ研修	参加者数 30人 就職者数 10人	参加者数 7人
子育て就労支援セミナー	就職者数 8人以上	未実施
職場定着コンサルティング事業	相談実績 150件以上 離職率 28.2%以下	未実施

一体的実施事業による就職成功例

～「ひろさき実践型ジョブ・トレーニング事業」及び「職場定着コンサルティング事業」を活用した例～

ひろさき実践型ジョブ・トレーニング事業（市の事業）：緊急雇用創出事業を活用した学卒未就職者等の雇用創出事業
職場定着コンサルティング事業（国の委託事業）：試用期間中にカウンセラーを巡回させ、就業上の悩み等を聴き取り継続雇用を支援

女性：21歳 直近の状況：専門学校を卒業後、就労経験なし

① 支援内容・ポイント・経過

- ・市窓口で、求職者に対して市事業の趣旨・目的等（試行雇用後の正社員への登用）を説明。
- ・ハローワーク窓口で、職業相談を実施し、ひろさき実践型ジョブ・トレーニング事業に係る求人の中から、専門学校での知識・技能等を活かせる理美容関係の企業に応募。

➡ 理美容業で試行雇用が決定【ひろさき実践型ジョブ・トレーニング事業活用】

◇ 試行雇用中の課題

- ・同年代の同僚がおらず、先輩は年が離れているため、社内のコミュニケーションが不足している。
- ・責任のある仕事を任せてくれるが、自信が持てず不安を抱きながら仕事をしている。
- ・先輩等から仕事に必要なスキルを丁寧に教えてもらえるとの思い込みを持っている。

◇ カウンセリングによる支援【職場定着コンサルティング事業活用】

- ・「教えてもらえる」という他人への依存が強いため、自分から進んで勉強する姿勢が必要なことを研修生に助言。
- ・事業主には、就労経験がない新人に対する教育であることから、技術面だけでなく、精神面のサポートも必要であることを助言。

② 結果

試行雇用先の事業所（理美容業）において、正規雇用が決定

○ 職場定着コンサルタントの所感

- ・当初、事業所の積極的な育成方法と研修生の内向的な性格が一致していなかったが、カウンセリングを重ねた結果、正規雇用に結びつけることができた。